あなたと博物館

松本市立博物館ニュース　No.226　2020.1.1

雪化粧の山々

里山や水辺に訪れる冬鳥

寒さを乗り越え春を待ちわびる植物――

松本の自然は、冬も魅力にあふれている

冬鳥の1種 ベニマシコ

ナナカマドの冬芽

松本城の堀にやってきたマガモ

1月3日は
市立博物館へ行こう！
［開館時間］午前10時～午後3時30分

松本市立博物館を無料開館します。当日は博物館友の会による松本だるまなどの縁起物や七福神と干支ピンバッジの販売を行います。

もくじ

博物館ノートから ◇ 旧制高等学校記念館・あがたの森図書館連携イベント おはなしの会・・・2
博物館TOPICS ◇ あめ市歴史展示「にぎわいのあめ市」・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
◇ 30年間絶えることなく続いてきた「化石教室」・・・・・・・・・・3
ガイドコーナー ◇ はんてんぼく・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

旧制高等学校記念館・あがたの森図書館連携イベント おはなしの会

1　はじめに

旧制高等学校は、明治19年（1886）から昭和25年（1950）まで存在していた高等教育機関です。全国でわずか41校（※1）しか存在しておらず、一学年の人数が限定されていたため、帝国大学などの官立大学にほぼ進学することができました。このため旧制高校生はよく遊び、よく学び、青春を満喫し、自由に個性や才能を伸ばすことができました。そんな風潮もあったためか、旧制高等学校出身者にはさまざまな分野で数多くの著名人が存在します。多くの人材を輩出した旧制高等学校ですが、閉校して70年が経ち、当時を知る方々が少なくなっています。

当館では、旧制高等学校の歴史を未来に伝え、活用していくために、若い世代を対象としたイベントとして、おはなしの会を開催しました。

2　おはなしの会

おはなしの会は、あがたの森図書館と連携し、初の試みとして実施しました。旧制高等学校について知っていただくため、旧制高等学校記念館3階を会場としました。

11月3日（日・祝）開催当日は、成蹊高等学校（旧制）出身である、かこさとしの絵本の読み聞かせを行いました。

また、当日読み聞かせを行った絵本の1冊である、『からすのパンやさん』にちなんで、カラスの人形を用いた手遊びも行いました。読み聞かせ後は、旧制高等学校記念館・あがたの森図書館・あがたの森文化会館それぞれのマスコットキャラクターである「バンカラ君」「ライブラリス」「あがた森ちゃん」の塗り絵を行いました。おはなしの会には、来館したことの無かった方々や、親子連れにご参加いただきました。参加者からは、「今まで来館したことが無かったが、とても楽しかった。」という感想をいただきました。さらに、子どもが真剣におはなしを聴いたり、塗り絵に取り組んだりする様子が見られました。

3　今後について

今回のおはなしの会は、若い世代に旧制高等学校記念館を知っていただくことを目標に開催しました。その結果、来館したことのなかった若い世代の皆様にご参加いただき、目標を達成することができました。

今後の展望としては、来年度以降もおはなしの会を続けていき、リピーターを増加させることで、旧制高等学校について、学びを深めていただきたいと考えています。

また、新規参加者を増やすために、子どもと一緒に塗り絵を展示する場を設けたり、工学博士でもある、かこさとしの化学の絵本を用いた実験をしたり、新しい試みを実施していきたいです。加えて、親御さん向けに展示解説を行うなど、旧制高等学校に関してより深い学びの場を提供していきたいです。

旧制高等学校の歴史を未来に伝え、活用していくために、今後も若い世代を中心に、市民の学びへつなげていけるよう尽力します。

※1　旧制高等学校記念館では、ナンバースクール8校・地名校17校・7年制高校10校・官立大学予科6校を全て含めた41校を旧制高等学校と定義している。

（旧制高等学校記念館　学芸員／石原花梨）

バンカラ君

ライブラリス

あがた森ちゃん

松本市時計博物館 Tel.0263-36-0969

あめ市歴史展示「にぎわいのあめ市」

江戸時代、松本の城下町の繁栄の様子を、一番あらわしているのがあめ市のにぎわいでした。天保14年（1843）『善光寺道名所図会』には、松本の城下町の紹介として、あめ市の様子が描かれています。本町の拝殿前の道が大勢の人で埋まり、賑っている様子がわかります。道の左右には多くの幟が立てられ、地元の商人だけでなく江戸や尾張の遠方の商人から奉納されていることが伺えます。本文の中には「諸国の商人建る幟は春風にひらめき、種々（くさぐさ）の捧物は宝の山をなして所せく、実（げに）も信府の繁昌想像（おもいやる）べし」と書かれています。松本で行われるあめ市の盛況ぶりが諸国にも知れ渡り、多くの幟が立ち、捧げ物が山をなしたことが書かれており、当時のあめ市が盛大に行われていた様子が見て取れます。

本展では、このような江戸時代から現代にかけてのあめ市のにぎわいの様子を、資料や写真を使いながら紹介します。

「善光寺道名所図会」 初市の様子

あめ市歴史展示「にぎわいのあめ市」

[会　期] 1月4日㊏～1月26日㊐
※月曜休館、午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
[会　場] 松本市時計博物館　3階企画展示室
[料　金] 無料（1・2階常設展は通常観覧料）

四賀化石館 Tel.0263-64-3900

30年間絶えることなく続いてきた「化石教室」

平成元年に開館した四賀化石館ですが、開館当時から絶えることなく続けられてきたのが「化石教室」です。化石について学習し、化石採集と地層見学を行います。30年前の写真から子供達が熱心に学んでいた様子がうかがえます。信州大学の名誉教授であった故田中邦雄教授が自ら先頭にたって参加者を指導していたそうです。

1990化石教室

現在の化石教室は5月～9月までが化石採集と地層見学、10、11月はレプリカ作りとなっています。特に、化石採集は人気があり、毎年100人ほどのキャンセル待ちがでます。小学生が対象ですが、むしろ保護者の方が熱中するようです。31年度からは抽選となりました。また、テキストを一新し、四賀地区の地層見学地の紹介、クジラの進化におけるシガマッコウクジラの位置づけ(木村敏之氏筆)、山国信州でなぜ化石がみつかるのかの解説等を掲載しました。

化石教室がこのように30年以上続けてこられたのは、化石のことが知りたい、化石を採ってみたいという子供達の純粋な欲求があるからだと思います。幼児はなぜあんなにも恐竜が好きなのでしょうか。不思議なことが見たい、知りたいという好奇心が今日まで続いてきた人間の繁栄の根本なのかもしれません。

その好奇心が衰えることのない大人の方々にむけて、冬期に「大人のための化石教室連続講座」を開催しています。松本市四賀地区には生活の身近に化石があり、見ごたえのある地層見学地が複数あります。そして、四賀化石館は大人の好奇心を呼び覚ます貴重な標本を数多く展示しています。

大人のための化石教室連続講座

第2回「松本平の化石についての講義と化石館収蔵庫見学」
※シガマッコウクジラのオリジナル標本が見学できます。
[日　時] 1月18日（土）午前9時～正午
[場　所] 松本市四賀化石館
[料　金] 通常観覧料（市内在住70才以上は無料）
[申込み] 四賀化石館まで

松本市立博物館は松本城新春祝賀式に合わせ臨時開館します

恒例となりました、「宝船　七福神と干支ピンバッジ」や、市立博物館オリジナル福袋の販売をいたします。
また、松本まるごと博物館友の会では、縁起だるまの販売や招福干支根付の無料配布（なくなり次第終了）を行います。

日時　1月3日（金）
午前10時～午後3時30分
（最終入館は午後3時）

市立博物館から　☎0263-32-0133

まゆ玉サービス

市立博物館では、博物館ボランティア　エムの会と協働して、折々の年中行事にかかわる「食」の伝承に努めています。今回は、「まゆ玉」と呼ばれる米粉で作った繭（まゆ）の形の団子を来館者に提供します。

日　時　1月14日(火)午前10時～なくなり次第終了
料　金　入館料(大人200円、中学生以下100円)
場　所　市立博物館1階ロビー

窪田空穂記念館から☎0263-48-3440

百人一首教室

百人一首に親しみ、かるた取りの上達方法を学びます。

日　時　1月12日･19日(日)　午後1時～3時
会　場　窪田空穂生家(窪田空穂記念館向かい側)
料　金　無料
定　員　各30人
講　師　中本晶子氏／短大講師
申込み　窪田空穂記念館へ

冬季文化講座「冬日ざし」

窪田空穂の歌集『冬日ざし』から名付けた冬季文化講座です。

日　時　①2月1日(土)、②8日(土)、③22日(土)、④29日(土)いずれも午後1時30分～3時
会　場　窪田空穂生家(窪田空穂記念館向かい側)
料　金　無料
定　員　各50人
内　容　①「窪田空穂と木下尚江～空穂の父･庄次郎をとおして～」
②「江戸時代、松本の本屋　高美屋甚左衛門とその時代」
③「ひまわり油にチャレンジ～ゼロから始めた健康志向油づくり～」
④「松本の武士のくらし」
講　師　①上條宏之氏/前長野県短期大学学長
②高美正浩氏/高美書店店主
③篠田洋一氏/元理科教員
④後藤芳孝氏/まつもと文化遺産保存活用協議会会長
申込み　1月5日(日)から電話で窪田空穂記念館へ

歴史の里から　☎0263-47-4515

パネル展「歴史の里2019」

2019年の歴史の里の活動や四季折々の風景などを写真パネルで紹介します。

会　期　1月18日(土)～3月31日(火)
会　場　歴史の里　展示･休憩棟
料　金　通常観覧料(大人410円、中学生以下無料)

考古博物館から　☎0263-86-4710

八十二銀行ウインドギャラリー展「エリ穴遺跡の逸品」

大名町通りの八十二銀行ウインドギャラリーで、縄文時代中期から晩期にかけての遺跡であるエリ穴遺跡の資料を写真パネルで紹介します。

会　期　1月15日(水)～1月30日(木)
会　場　八十二銀行松本営業部　1階　ウインドギャラリー
観覧料　無料

速報展「発掘された松本2019」

2019年中に松本市内で実施した発掘調査等について、出土品や写真を展示し、その成果をいち早くご紹介します。

会　期　2月8日(土)～2月24日(月･祝)
※月曜休館、休日の場合はその翌日
会　場　時計博物館3階　企画展示室
料　金　時計博物館の通常観覧料(大人310円、小人150円)

関連事業「発掘された松本2019～松本市遺跡発掘報告会～」

日　時　2月11日(火･祝)　午後1時から
会　場　勤労者福祉センター　大会議室
料　金　無料
問合せ　文化財課へ　☎0263-85-7064

松本民芸館から　☎0263-33-1569

体験講座「こぎん刺しのコースター作り」

日　時　2月9日(日)　①午前9時30分～正午
②午後1時～午後3時30分
会　場　松本民芸館
料　金　1,500円(材料費)　※入館料別途
定　員　各回10名(要予約)
対　象　中学生以上
講　師　米山　知歩氏
申込み　1月7日(火)午前9時から電話で受付開始

旧山辺学校校舎から☎0263-32-7602

第2回探古会「武家文書を読む　Ⅲ」

第2回探古会（古文書読解講習会）を開催いたします。「古文書を読んでみたい」、「古文書に興味がある」という方は奮ってご参加ください。

日　時　2月16日(日)午前9時～正午
会　場　松本市教育文化センター2階　206会議室
料　金　510円(テキスト代として)
定　員　40人(要予約･先着順)
対　象　どなたでも
内　容　「武家文書を読む　Ⅲ」
持ち物　筆記用具、飲み物(必要な方)
講　師　後藤芳孝氏/元松本城管理事務所研究専門員
申込み　1月28日(火)8時30分から電話で受付開始

山と自然博物館から ☎0263-38-0012

冬の野鳥観察会

公園内を歩きながら冬鳥などを観察します。

日　時　2月8日(土)午前9時～11時
会　場　アルプス公園内(集合:山と自然博物館)
参加料　300円
定　員　15名
対　象　小学生以上の子どもとその保護者･大人一般
持ち物　野外を歩きやすい服装、筆記用具、双眼鏡(あれば)など
講　師　丸山隆氏(前信州野鳥の会会長)
申込み　1月5日(日)午前9時から電話で受付開始

冬の自然観察会～小さな春をみつけよう!～

公園内を歩きながら、植物の冬芽などを観察します。環境政策課主催の「エコスクール」との合同開催です。詳しくは松本市公式ホームページの「環境教育情報」ページをご覧ください。

日　時　2月29日(土)午後1時～3時
会　場　アルプス公園内(集合:山と自然博物館)
参加料　無料
対　象　年中児以上の子どもとその保護者･大人一般
申込み　2月から上記「環境教育情報」ページ内の応募フォームより

松本城の石垣で休むコガモたち

あとがき

今年も松本城の堀にカモたちがやって来ました。ほぼ毎日見られるのはカルガモ、マガモ、コガモ、オカヨシガモの4種ですが、稀に他の種がいることもあり、観察していて楽しいです。

（J・U）

あなたと博物館 No.226
発行年月日/令和2年1月1日
編集･発行/松本市立博物館
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133
URL：http://www.matsu-haku.com
e-mail：mcmuse@city.matsumoto.lg.jp
印刷　川越印刷株式会社